

# エンブレムフロントカメラキット

## 取付/取扱説明書

12V専用

日本国内専用

WR-V(DG5) R6.3 ~

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
 ●この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。  
 ●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。  
 ●本製品は、日本国内で車検を受けた車両専用に設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取り付け、および日本国外での販売や使用を禁止しています。万が一、日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いませんのでご了承ください。

**重要** ●本製品の装着にはフロントグリルへの穴あけ加工が必要になります。

### ご相談窓口

**お電話 086-486-0442** サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)  
 【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00  
 (年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

**メールでのお問い合わせ**

<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>

**製品取付・製品紹介動画サイト**

<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>

**Data System 株式会社 データシステム**

■[本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11  
 弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。  
 FCK-114WS3-2503-AKN

## 内容物一覧

- カメラ本体(4m) ×1
- 電源ハーネス(3m) ×1
- カメラカバー ×1
- 正像/鏡像切替コネクタ ×1
- ピン端子ケーブル(2m) ×1
- クワ型端子 ×1
- コードクリップ ×2
- 結束バンド ×10
- エレクトロタップ ×2
- ブチルテープ ×1
- 脱脂クリーナー ×1
- 取付/取扱説明書(本書) ×1

## 注意事項の定義について

注意事項は「**危険**」、「**注意**」、「**警告**」、「**重要**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

<b>危険</b>	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
<b>注意</b>	守らないと、車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
<b>警告</b>	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
<b>重要</b>	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

## 使用上の注意

**危険** カメラ映像は、ドアミラーやバックミラーなどと同様にあくまで車の安全をサポートするためのものです。本製品使用中は、必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。

**注意** カメラ映像は、視野角やレンズ形状などから実際の距離とは距離感が異なります。  
**注意** カメラに電源が入った直後や、カメラの使用中にカメラ映像の明るさや色あいが変化することがありますが、これは周囲の明るさをカメラが検知し映像補正するために発生する症状ですので、故障ではありません。

**注意** 自動洗車機などによる高圧洗浄はおこなわないでください。内部に水が浸入して故障の原因となる場合があります。

**重要** 本製品のカメラ本体は、必ずカメラカバーとセットで車両に装着してください。

**重要** 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

## メンテナンスについて

**注意** カメラ本体およびカメラカバーは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性がある薬品類で拭かないでください。変質・変形等の原因となります。

**注意** レンズは定期的に、または汚れていたらきれいに拭いてください。ただし、拭く際は柔らかい布などに水を含ませ軽く拭く程度にしてください。強くこすったり乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

## 保証について

本製品は日本車専用に設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取り付け、および日本国外での販売や使用を禁止しています。万が一日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いませんので予めご了承ください。

●保証書及びユーザー登録はがきは付属していません。保証規定及び保証期間については、弊社Webサイトに掲載しています。  
<http://www.datasystem.co.jp/products/warranty.html>

●日付の入ったレシートや納品書、購入証明書を保証書の代わりとして使用しますので必ず保管の上、検査・修理の際には添付してください。  
 ●保証期間はレシートや納品書、購入証明書の日付から開始されます。  
 ●製品保証はユーザー登録の有無に関わらず対象となります。  
 ●本製品に貼付している封印シールをはがさないでください。はがした場合、保証期間に関わらず保証対象外となります。

ユーザー登録は任意です。ユーザー登録を行うと登録者向けキャンペーンやリコール情報等いち早くお知らせします。専用WEBサイトよりご登録ください。

<https://www.datasystem.co.jp/user/index.html>

## 仕様

有効画素数	約40万画素
水平解像度	約480TV本
水平画角	約180°
垂直画角	110°
TVシステム	NTSC
電源	DC12V
消費電流	約37mA
動作可能温度	-20°C～+65°C
出力タイプ	正像/鏡像
表示ガイドライン	なし
ヒューズ	1A
カバーサイズ	幅45mm×高さ48mm×奥行き33mm
カメラカバー表面処理	ウレタン製 つや消し黒塗装

## 取り付け上の注意

**注意** 本製品は12V車専用です。  
**注意** 電源ハーネスは必ず付属品を使用してください。付属品以外は使用できません。  
**注意** 製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱い業者でおこなってください。  
**注意** 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。ただし、バッテリーマイナス端子を外す前に、消えると困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法については機器の取扱説明書をご参照ください。  
**注意** 車両側および本製品の配線を傷つけないよう、配線の取り回しには十分ご注意ください。また、車内に水が浸入しないよう適切な配線処理をおこなってください。

**重要** 必ず車体最前部からはみ出さない位置に装着してください。車体最前部からはみ出してしまうと車体の全長が変わり、車検証記載事項の変更などが必要になる場合があります。

**注意** 本製品の分解や改造は絶対におこなわないでください。  
**注意** 車体から脱落しないようしっかりと装着してください。

**注意** 電源ハーネスは切断して使用しないでください(延長は可)。電源ハーネスには電源回路およびヒューズが接続されていますので、これらを切断してしまうと正常動作しなかったり、車両側の故障の原因となります。

**注意** 付属のピン端子ケーブルの長さが足りないときは、別途延長ケーブルをご用意ください。  
**注意** 取付説明書に記載されている方法以外の取り付けは絶対におこなわないでください。本来の取り付け方法以外で取り付けられた場合は保証対象外となります。

## カバーの塗装について

**注意** 本製品のカバーはウレタン製です。塗装するには専門の知識が必要ですので、塗装の際は専門業者に依頼してください。

## 取り付けに必要なもの

- 一般工具(ドライバー/プライヤーなど)
- 電工ペンチ
- ドリル(3.5φ、6φ)
- 配線通し

## エレクトロタップのつかいかた

- エレクトロタップの「ストッパーが付いていないくぼみ」に、車両の配線を重ねます。
- カバー(A)をしっかりと閉じます。  
 ※プライヤーなどを使用して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。
- 接続する配線を、エレクトロタップのストッパーに当たるまで差し込みます。
- カバー(B)をしっかりと閉じます。  
 ※プライヤーなどを使用して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

## 使用方法

ナビやモニターに接続してご使用ください。ナビやモニターの使用方法については、ナビやモニターの取扱説明書をご参照ください。



## 正像/鏡像切替コネクタについて

同梱の正像/鏡像切替コネクタは使用しません。このコネクタを電源ハーネスに取り付けると、本機の出力映像が鏡像に切り替わります。



**注意** カメラに電源が入った状態で、正像/鏡像切替コネクタを取り付けたり取り外したりしないでください。

## カメラの構造について

本製品のカメラ部は、下図のようにカメラ本体をOリングに押し付けて固定する構造になっています。本体カバーの締め具合で、カメラ本体の動きを加減できます。



**重要** 分解する際は、部品を紛失しないよう、ご注意ください。

## カメラ本体の動きを調整する

カメラ本体が適度な手の力で動かか確認します。

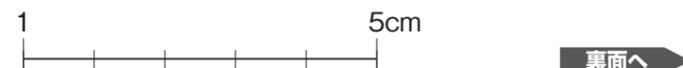
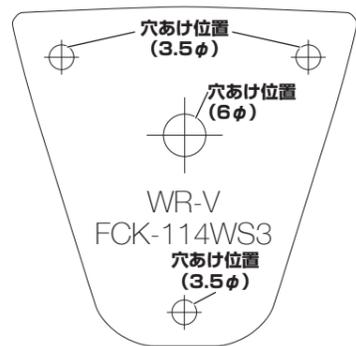


動かない場合や、軽い力で動いてしまう場合は、本体カバーを回転させて調整します。

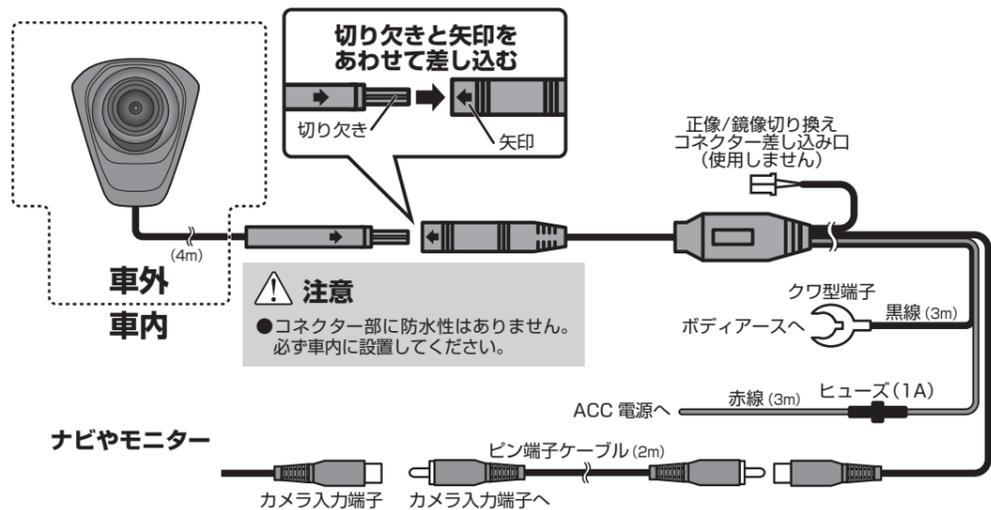


## 型紙

穴あけ用型紙 ※切り取ってご使用ください。



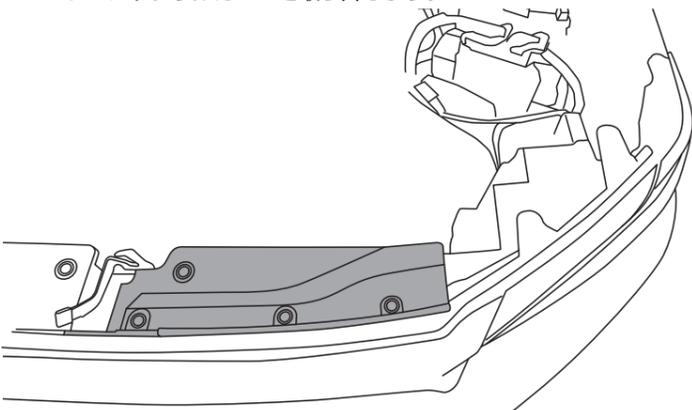
## 接続概要図



## 取付方法

### 1. フロントグリルカバー取り外し

フロントグリルカバーを取り外します。



### 2. 型紙の貼り付け

本書にある型紙を切り取り、フロントグリルのホンダエンブレムの図で示した位置に貼り付けます。



### 3. 穴あけ

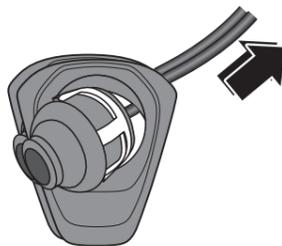
型紙に合わせてドリルで計4箇所、の穴あけをおこないます(6φ×1箇所, 3.5φ×3箇所)。



**重要** ●ホンダエンブレムに傷を付けないようご注意ください。ドリルで穴を開ける前に必ずホンダエンブレム全体を養生テープなどで保護してください。

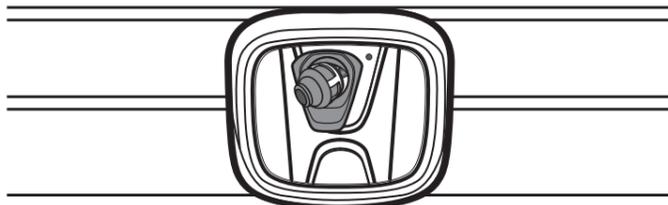
### 4. カメラカバーにカメラケーブルを通す

**重要** ●カメラの角度調整ができなくなりますので、まだカメラカバーにカメラ本体をはめ込まず、カメラカバーの穴に当たる程度にしておいてください。



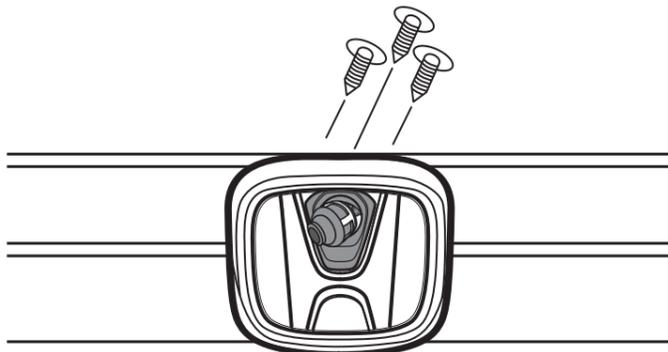
### 5. カメラカバーを固定位置へ近づける

「2.」で開けた6φの穴にカメラケーブルを通し、カメラカバーがフロントグリルに当たるまでエンジンルーム側からカメラケーブルを引きます。



### 6. カメラカバーをフロントグリルへ固定する

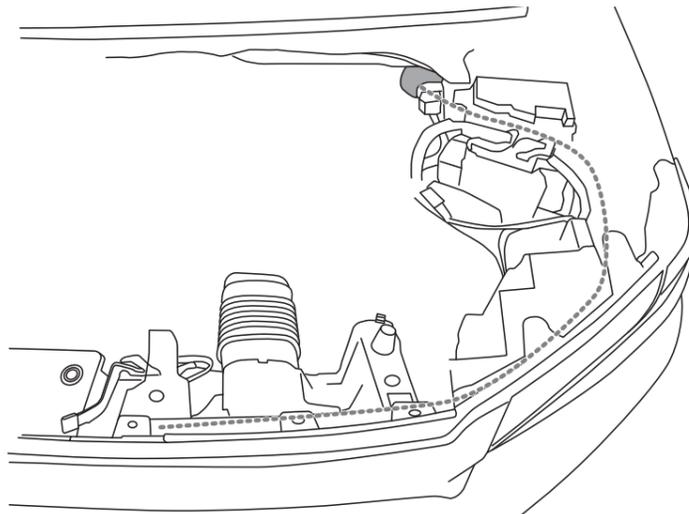
カメラカバーのネジ穴3箇所とフロントグリルに開けた3.5φの穴3箇所を合わせ、カメラカバーをフロントグリル裏側から同梱のタッピングスクリュー 3本で固定します。



**重要** ●タッピングスクリューを締めすぎないようにご注意ください。●カメラの角度調整ができなくなりますので、まだカメラカバーにカメラ本体をはめ込まず、カメラカバーの穴に当たる程度にしておいてください。

## 7. カメラケーブル引き回し

図のようにカメラケーブルを引き回し、車内へ引き込みます。



**重要** ●カメラケーブルが引き込みにくい場合は配線通しなどを使用してください。●ブーツ部を通っている純正ハーネスに傷を付けないようご注意ください。●カメラケーブル引き込み後は必ずビニールテープを巻いて防水処理してください。必要に応じて同梱のプチルテープも使用してください。

### 8. クワ型端子取り付け

電源ハーネスの黒線先端にクワ型端子を取り付けます。



### 9. バッテリーマイナス端子取り外し

車両のバッテリーマイナス端子を取り外します。

### 10. 電源ハーネス/ピン端子ケーブル接続

接続概要図を参照して、電源ハーネス/ピン端子ケーブルを接続します。

**注意** ●カメラのコネクタは必ず車内に引き込んでから接続してください。カメラのコネクタ部は防水仕様ではないため、車外に設置すると製品故障の原因となる場合があります。●カメラのコネクタと電源ハーネスのコネクタは、カメラ側の切り欠きとハーネス側の矢印をあわせて差し込んでください。無理に差し込むとコネクタの端子が破損する恐れがあります。



### 11. バッテリーマイナス端子接続

バッテリーマイナス端子を取り付けます。続きます。

### 12. 動作確認

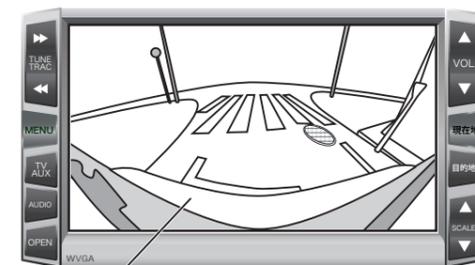
エンジンを始動しナビやモニターにカメラ映像が表示されるか確認します。

**重要** ●カメラの映像が表示されないときは、電源ハーネスやピン端子ケーブルの接続を再度ご確認ください。

## 13. カメラ角度調整

**13-1** カメラ本体の溝を下方向に向け、カメラカバーにカメラ本体を半分ほど差し込みます。

**13-2** カメラ映像がモニターで下図のように表示されるまでカメラの向きを調整します。



フロントバンパー

**13-3** カメラ本体をカメラカバーに差し込みます。カメラの向きを微調整します。

**重要** ●カメラの映像が水平に見えない場合は、カメラカバーの取り付け位置を再確認してください。カメラカバーが車両の中心に取り付けられていなかったり、傾いて取り付けられていたりした場合、水平に見えないことがあります。

## 14. 最終確認

もう一度フロントカメラの映像が水平に映るか確認したあと、各ケーブルの整理と、取り外したカバー類を元に戻します。